



題字 井口 文章
再刊 第280号
印刷・発行
錦城高等学校新聞
委員会 2018

みんなてつくる
錦城高校新聞

一面：新しい錦城へ生徒会引き継ぎ
1、2年生視聴覚教室で狂言を鑑賞
二面：アンケートでみえてきた食堂の今
体操部、弓道部が大会で好成績

錦城の“今、これから”を語る

生徒会役員引き継ぎ行われる

11月12日(月)、新旧生徒会役員の引き継ぎが和室で行われた。生徒会は生徒会長を中心に、次の代へ引き継ぐ課題や成功した点と反省点、来期に向けた方針についての意見などが話し合われた。



茶道室で約1時間かけて引き継ぎを行う生徒会役員と中央委員会一般委員たち

(編集部共同取材)

ですが、最近特にひどいと思えます」と語った。そんな中「改善は難しいけれど、達成すれば生徒会の活動がスムーズに進みます」と改善の必要性を改めて口にした。村本さんは携帯のルールを緩めてほしいという意見が意見箱に多く寄せられる一方、携帯のルールを守れない人もいるために先生からの信頼が得られていないと話す。寄せられる意見を実現するための議論を進めるために「自分たちはルールを守れている」と示すことが必要だと座談会で共有した。

マナー問題を撲滅します

始めに役員同士で自己紹介が行われた。その後生徒会役員の役職や仕事についての説明が行われ、前生徒会長の村本夏望さん(3L)が新生生徒会副会長の橋本太朗くん(1L)に「会長はどんな表に出ていくのに対して、それを裏から支えるのが副会長の役割」とアドバイスするといった場面や、監査委員会の使うハンコや書類の取り扱いについて、前監査委員長の小嶋祐輝くん(3L)が新監査委員長の勝木直人くん(2D)に教えるといったことも見られた。



「ゴミ問題を0にします」と松本くん

従来の会報と放送で伝える方法では効果は薄かったため新しい方法を模索する方針となった。会報をもっと多くの人に届ける場面に掲示するなどの意見が出たが、具体的な方法については決まらないうちもあつたが予算の都合上実現は難しいとされた。

今回のコンセプトは「本物の選挙に近づける」だった。小平市の選挙管理委員会から実際に選挙で使用されている投票箱を借りたことにより、投票用紙の配布や集計の仕方なども例年とは違う点があったという。



実際の選挙で使用される投票箱に投票をする

また集計では投票用紙を折らずに投函することを伝え忘れてしまったことも課題の1つだとされた。「本物の選挙みたいで空気がびりびりとした」という声もあつたことからも、次回も投票箱を借りたいという方針になった。来年もまた新たなことに挑戦しようと思つた委員たちは早くも話し始めていた。(加)

選管選挙を振り返る

11月12日(月)にコンピュータ室で選挙管理委員会の反省会が開かれた。まず今年度の生徒会選挙で良かった点として「無効投票数を減らす」という目標の通り、無効投票を7票にとどめられたことが挙げられた。記入方法が間違っていたものや落書きがされてしまったものが無効投票として扱われた。

待望のリュック完成目前

先週の立会演説会の前、生徒会長と代議員長が西武さんには10000円のリュックの販売開始の試作品が完成したという。現在のリュックの試作品が完成したという。現在リュックの試作品が完成したという。現在リュックの試作品が完成したという。



完成したリュックのサンプル

代議員会の今後
代議員会では今後別の見込みがない限り、0円を超えないという方針で、多先生たちと協力して話し合っていく。0円を超えないという方針で、多先生たちと協力して話し合っていく。

1、2年生視聴覚教室で狂言を鑑賞



狂言にチャレンジする錦城生

11月8日(木)の午後、1、2年生を対象とした視聴覚教室が行われた。「盆山」「墨塗」「棒縛」が披露された。また狂言ワークショップでは、代表生徒と共に上原先生と芦澤先生が登場し狂言を演じる姿に更に大きな盛り上がりを見せた。



演目「棒縛」のワンシーン 右が次郎冠者役の三宅さん

三宅さんは、狂言の重ん」と話す。三宅さんは錦城生に「人間は楽な方に流されやすいもの。でもあえて面倒くさいほうを選んでほしい。物事をいろいろ方向から見れば考えが変わるかもしれない。だから今はいろいろな経験をしてみてください」とアドバイスを送った。

最後に、新生生徒会役員で生徒会の所有するパソコンの使用ルールなどを確認。また、生徒会役員のスケジュールなどから毎週月曜日に定例会を開催することを決定した。

錦城高校前の歩道をゴミ拾い 生徒会は活動を早速開始

11月12日(月)、新旧生徒会のメンバーと、1名のボランティアが錦城高校前の新小井井街でゴミ拾いを行い、約1時間かけて歩道脇の落ち葉やゴミなどを拾った。この仕事は、旧生徒会にとっては最後の仕事、新生生徒会にとっては最初の仕事という意味を兼ね備えている。

むらさき草

横田真悠、19歳。Seventeenの専属モデルとして活動する彼女は「カワイイを、集める」テイムのカリスマだ。私にはモデルである彼女が、まるで天職であるかのように自分の仕事を楽しんでる様子が見える。8月、モデルプレスの取材に横田は応じていた。モデル経験が全くなかったことにより、ボーイングなどに苦労したことが、質問を受ける「先輩モデルの撮影を見て勉強しました」と話す横田。しかしそれは焦りからではなく「たまたまにねばいいかな」という気持ちでやったことだ。そしてマネージャーが「横田真悠は苦労を苦勞と思わないタイプだ」と彼女の努力を認め、彼女が「モデル」という職業を、仕事としてではなく好きにやっていくのだと語る。また横田は先月の「プロフェッショナル」仕事の流儀「原宿スベシヤル」にカリスマモデルとして出演していた。そこで描かれたのは彼女の知られざる苦悩。「名前だけが有名になり、自分が追いついていない」と心の内を語る。今年には彼女にとってティーンでいられた最後の年だ。迫るタイムリミットに不安を抱え「今辞めたら何も残らない」と時に涙を見せた。苦しい状況だとしても「仕事をしたい」という意識はないとモデルを楽しむ。彼女はモデルの勉強を「生活の一部」として彼女独自の視点で捉えることで「好きなこと、楽しいこと」としてこなしていた。捉え方次第でしるすにも辛さにも見え、物事に対する意識によって世界の見方も変わる。私も同じだ。勉強や部活に対する「やらなければならないもの」という意識を勉強して、部活を頑張っている。何より努力している自分が好きという思考にチェンジして、頑張ることが嫌になった時は、自分が一番好きな姿を想像して「もうひと踏ん張り」してみようと思う。(種)

ちよつとした気づかいを

食堂の利用実態を大調査

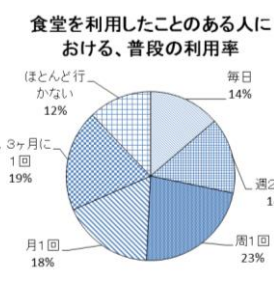
イスが壊されていた件など、錦城生の食堂利用のマナーについて疑問の声があがっている。そこで、1・2年生計791人へ向けてアンケートを通じて食堂利用について調査した。また、食堂で働いている人に生徒の要望を伝え、食堂に対する意見がどのくらい反映できるのか聞いてみた。(編集部共同取材)

1・2年生に
食堂アンケート実施
1日にどのくらいの生徒が

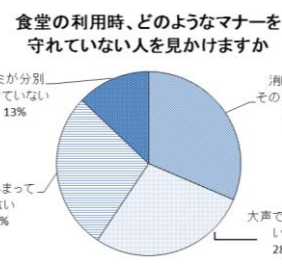


ある日の昼休み。昼食をとる多くの生徒で賑わう食堂の様子

昼休みに食堂を利用しているのか。新聞委員会編集部は10月29(月)から11月2日(金)にかけて食堂前の2つの扉に



立ち、弁当を食べに来た人も含め、食堂を利用している生徒の人数を数えた。その結果1日当たりの利用人数は平均して約412人、全校生徒1453人(4月時点)のうちの28%になる。

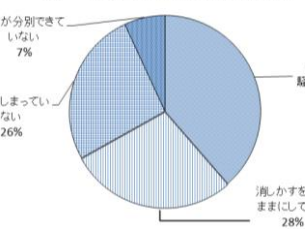


に1回以上食堂を利用していた。一方でほとんど利用していない人も12%いた。

現在、食堂マナーは改善? 以前、食堂のイスが破壊されていたことを受けて「食堂利用時にどのようなマナーを

守っていない人を見かけますか」という質問に対し「消しかすをそのままにしている」という回答が31%を占めた。し

食堂利用時、あなたが守っていないと思うマナーにはどんなものがありますか



「自分自身が守れていない」という質問に対し「他の人が出来ていない」という回答が13%に、「自分が出来ていない」では7%とな

「スポーツの秋」運動部、好成績

体操部

11月3日(土)に行われた男子新人大会でゆか、つり輪で1位、そして個人総合3位という結果を残した濱田康輔くん(2D)に話を聞いた。



「失敗を上手くカバーできました」と濱田くん

今回の好成績について「嬉しいです」と笑顔で振り返る。今回の大会は今年度最後の大会であり、また夏からの成果を発揮する場でもあるため、計画的に練習を行ってきたという。大会当日の演技について

「失敗もあったがそれを他でうまくカバーすることができた」と冷静に分析。今回と同じようなミスを減らすために、一つひとつの技の精度を高め、後の目標について語った。

弓道部

弓道部は11月4日(日)、東京武道館で行われた東京都新大会女子部の部に出場した。団体は小田部葵さん(2D)、大音和さん(1E)、渡邊菜奈果さん(2K)が10位という成績を収め、個人では小田部

団体戦

「集中力を切らさず、練習通りにできるようにしたい」と語った。

個人戦

個人戦では決勝戦まで残った小田部さん。個人の成績は団体で自分が当てた本数によ

さんが決勝戦に進出した。本番で4本中4本を当てる「皆中」をした小田部さんは、これまでの練習について「先

邊さんはこれからの目標を「集中力を切らさず、練習通りにできるようにしたい」と語った。

って決まり、小田部さんは皆中で決勝戦に残った。

「失敗も上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

食券メニュー		販売メニュー	
1位 ラーメン	2位 うどん	1位 菓子パン	2位 飲み物
3位 日替わりランチ	4位 そば	3位 おばサンド	4位 チャーハン
5位 カレー		5位 焼きカレー	

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

「失敗を上手にカバーできました」と濱田くん

アンケートから見えてきた錦城生の睡眠

11月2日(金)まで保険室前の掲示板に「睡眠時間のアンケート」が掲示されていたのを知っているだろうか。「昨日何時寝たか」や「最近忙しいと感じているか」などの欄に前を通りかかった生徒などが学年ごとに色分けされたシールを貼っていくというものだ。企画した理由や、見えてきた錦城生の生活の実態などについて保健室の早川萌先生と金子晃子先生に話を聞いた。

金子先生は始めたきっかけについて、保健室に来室する人の睡眠時間が短いように思ったためだという。アンケートを通じて、寝るのが遅いから朝ご飯が食べられなかったり、SNSのせいで忙しく寝られなかったりといった錦城生の日常生活が見えてきたと話す。集計結果をみて2人は、1時過ぎまで起きている3年生が心配だという。

「この時期忙しいのは分かるけれども、できれば12時までは寝てほしい」と訴える。季節の変わり目やテスト前に授業中体調を崩す人が増えているそうだ。金子先生は「やっぱりな〜といった感じです。勉強を頑張っても授業を休んでしまっは本末転倒ですよ」と多忙な錦城生にメッセージを送った。(梅)

大会報告

男子硬式テニス
▽東京都私立中学高等学校テニス選手権大会
11月11日(日)
・吉永航平(2C)、大島諒英(2D)、舟橋亮汰(2J)、武藤悠磨(2E)、水野龍一(1B)、本國大和(1D)、飯田健斗(1M)、谷口大(1K)

軽音部
▽高校対抗バンドフェスティバル
11月4日(金)
・VIVIAN 予選敗退

生徒会動静

11月12日(月)
選挙管理委員会
11月16日(金)
中央委員会 随時活動中
スキー委員会 随時活動中